

農林水産分野 GHG 排出削減技術海外展開パッケージに係る 第5回意見交換会（農業分野②）

日時：令和7年5月9日（金）14：00～15：00

場所：農林水産省6階 技術会議委員室（ハイブリット）

参加者：別紙参照

【出席者コメント概要】

- ・ 海外展開に際し、単独での売り込みは難しいため、政府から、現地政府、企業、大学、研究機関とのマッチングを支援してほしい。
- ・ 技術の性質次第では、マッチングや支援策が必要な相手国のカウンターパートは公的機関の場合があり、日本政府・関係機関のお墨付きやこれらの機関に対するサービス導入支援のパッケージやプログラムが必要。
- ・ 広範囲の農地でクレジット創出するための制度設計及び技術開発支援を早急に推進する必要がある。
- ・ ボランタリークレジットの国際市場では、日本の需要家が極めて少ない。JCM 等の日本の需要家が求めるクレジット形成が必要であるが、同様の方法論を形成している事業者を集約し、効率的な JCM の形成が必要。
- ・ バイオ炭のような新たな農法を取り入れるインセンティブについて理解してもらうため、GHG 削減技術をパッケージとして、相手国政府へ働きかけてほしい。
- ・ バイオ炭やアグロフォレストリーを具体的にどう JCM に繋げていくか、技術的・専門的な助言がほしい。
- ・ 複数の支援策があるものの、支援策へのアクセスに課題があり、またどの支援策が適しているのか分からない場合もある。

- 国内外の政府主催イベントにおいて、自社の取り組みについて発信する機会を頂きたい。

農林水産分野 GHG 排出削減技術海外展開パッケージに係る
第5回意見交換会（農業分野②）出席者一覧

サグリ株式会社

坪井 俊輔 代表取締役 CEO

石坪 弘也 執行役員 CFO

株式会社 TOWING

永田 拓人 Chief Global Officer

木村 俊介 Chief Operating Officer

株式会社坂ノ途中（オンライン）

山本 博文 執行役員

田才 諒哉 海ノ向こうコーヒー 海外事業ディレクター

農林水産省

渡邊 洋一 農林水産審議官

堺田 輝也 技術総括審議官 兼 農林水産技術会議事務局長

西 経子 大臣官房審議官（技術・環境）

窪田 修 国際食料情報特別分析官（兼輸出・国際局）

信夫 隆生 農林水産技術会議事務局 研究総務官

松本 賢英 農産局 農業環境対策課長（代理）